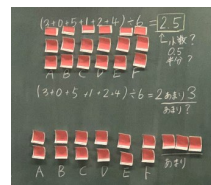


校内研究で重点的に取り組む教科が変わる年度は、過年度の成果が継承されにくいという課題がありました。そこで、校内研究の成果を継承し、更に積み上げていくことができるよう、二つの取組を行いました。

◆過年度の研究成果を活用

数年前、全ての児童が「分かった・できた」と実感できる授業を目指し、授業にユニバーサルデザインの視点を取り入れ、校内研究を進めました。今年度は、**当時の研究成果を生かし**、単元構想や授業協議会を行うようにしました。



過年度の研究成果が生かされた板書

◆過年度を取組をまとめた冊子を発行

新しく赴任された先生に過年度を取組について理解してもらえるよう、**取組内容を冊子にまとめ、配付しました。**



研究協議会では、これまでの研究で学んだことを生かしながら協議が行われていました。ある教員は、「校内研究の成果が積みあがっていることがよく分かる」と話していました。過年度を取組についてまとめた冊子を活用することで、全ての教員に、確実に取組内容を伝えることができました。私自身が昨年度を取組について振り返る機会にもなりました。

(F小学校 校内研究主任)